

XADO技術の適用結果に関する報告

LAZ・Ikarusバス： 全気筒で圧縮圧力が上昇、 潤滑油補給量は減少

第14330自動車輸送事業所公開株式会社（セヴァストポリの自動車輸送事業所）、事業所の技術委員会・署名者：生産技術部長G.M.シュクルコ、事業所の印章

ウクライナ、セヴァストポリ市・市内路線バスの保有車両、圧縮圧力の測定対象：LAZ-52523（登録番号26-46 KRR）

製品

XADO技術
使用説明書に従って処理を実施

処理対象

LAZ-52523・LAZ-42021バス、
Ikarus-260・Ikarus-263バス
エンジン・燃料噴射ポンプ・変速機・リヤアクスル

文書の種類

事業所の試験報告書
第14330自動車輸送事業所
公開株式会社
生産技術部長の署名・押印

機械類

処理部位

測定内容

LAZ-52523（登録番号26-46 KRR）

エンジン・燃料噴射ポンプ・変速機・リヤアクスル

6気筒の圧縮圧力（処理前後）

LAZ-52523・LAZ-42021

同上（保有車両）

1シフトあたりのエンジンオイル補給量、エンジンの潤滑油圧力

Ikarus-260・Ikarus-263

同上（保有車両）

黒煙濃度、変速機・リヤアクスルの騒音・振動（技術委員会による評価）

潤滑系統を処理した（エンジン22 l、変速機20 lおよび13 l、リヤアクスル10 lおよび16 l）。燃料噴射ポンプも処理した。

主な結果

↑ **12.5-22.7 %**

気筒別圧縮圧力、22～24 → 27～28 kgf/cm²

↓ **1-2 l/シフト**

シフト当たりのエンジンオイル補給量、2～3 → 1 l

圧縮圧力：LAZ-52523（登録番号26-46 KRR）

気筒	処理前 (kgf/cm ²)	処理後 (kgf/cm ²)	増加量
I	24	27	+3・12.5%
II	23	27	+4・17.4%
III	23	28	+5・21.7%
IV	23	28	+5・21.7%
V	23	28	+5・21.7%
VI	22	27	+5・22.7%
全6気筒	22～24	27～28	12.5～22.7%

圧縮圧力の上昇はエンジンの定格値が上限である。6気筒のいずれにおいても上昇し、気筒間の値の差も縮小しており、エンジンは安定した運転状態に達した。

処理後の保有車両の運用

測定項目	結果
エンジンオイルの補給	1シフトあたり2～3 l → 1 l
エンジンの潤滑油圧力	安定化、平均1.2 kg上昇
潤滑油の寿命	延長
排気煙濃度	低下
変速機・リヤアクスルの騒音・振動	低減

変速機およびリヤアクスルにも、エンジンとともに処理を施した。これらについて、技術委員会は騒音・振動が低減したとの評価を記録した。

事業所の技術委員会の結論

第14330自動車輸送事業所公開株式会社の技術委員会は、次のとおり記録している。「処理の結果、保有車両の運行時に排ガス黒煙濃度が低減し、潤滑油消費量が減少した（処理前のエンジンオイル補給量は1シフトあたり平均**2〜3 l**、処理後は**1 l**）。潤滑油の寿命が延び、エンジンの潤滑油圧力が安定した（エンジンの潤滑油圧力の平均上昇量は**1.2 kg**）。変速機およびリヤアクスルの騒音・振動も低減した。圧縮圧力の上昇は、LAZ-52523バス（登録番号26-46 KRR）を例として示す。」このバスの6気筒では、圧縮圧力が**22〜24**から**27〜28 kgf/cm²**に上昇した。ピストン・シリンダ部の気密性は全気筒で回復し、それとともにエンジンの駆動力と安定した運転も回復した。これらはすべて、通常運用中の車両において、対象機を分解せずに得られた結果である。

XADO

© XADO. 無断転載禁止。

本結果は、第14330自動車輸送事業所公開株式会社が保有する市内路線バスLAZ-52523・LAZ-42021・Ikarus-260・Ikarus-263およびその運用条件に関するものである。条件が異なる場合、測定値は異なることがある。署名・押印のある試験報告書の原本は全文を公開しており、ダウンロード可能である。